

第350号

発行
浄土真宗
心光寺
奥原曇龍
倉敷市早高426
☎(086)420-1311



学問は正しく



カット：本多紘子

早春の候、皆様いかがお過ごしでしょうか。お嬢様のいらしやる御家庭では、雛飾りで桃の節句をお祝いになりましたか。三月は卒業式のシーズン、何かと気ぜわしい季節ですね。

少子高齢化社会になって久しい日本ですが、核家族化して若いお父さんやお母さんが子育てをするのに、未熟なため、自分たちの子供に辛く当たる児童虐待をする事件が増えており、悲しいことです。昨年の7月に東京都目黒区で起きた舟戸結愛（5歳）ちゃんの死亡事件や今年1月に千葉県野田市で実の父親に虐待されて亡くなった栗原心愛（10歳）さんの事件で、厚生労働省は児童相談所が子供を親の虐待から保護する介入を強化する方針を固めました。

愚僧は団塊の世代で満70歳ですが、子供のころはテレビも洗濯機も冷蔵庫も電気炊飯釜も無かった時代なので、両親が苦勞して家族を支えていたことを思い出します。特に母親の苦勞は並大抵ではなく、この家も貧乏で生活に追われていたので、子供たちも母親の手伝いをしたり、家の手伝いをして勉強どころでは無かったです。でも、我々の時代の人は、母親に特別な感謝の気持ちを持つ人が多いですね。日本の敗戦後に生まれた子供たちは貧しい時代から、便利で豊かな

*心の悩み・信仰の相談は月曜日から木曜日の午前中に気楽にお電話下さい。

国造りの一翼を担ってきましたが、何か大切な忘れものをしたように思えてなりません。食べる物も着る物もお粗末だった時代から、日本は便利で物が豊富に充ち溢れ、衣食住に困る人がいなくなるほど経済発展しました。「衣食足りて礼節を知る」という諺がありますが、物が豊かになればなるほど人間の心が欲望に充ち、人としての礼儀や節度を見失う人の多いことに驚き、あの諺は「衣食足りて礼節を知らなければならぬ」という意味に気づいた愚僧です。

「正直に生きなさい」と子供のころに親に言われたけれど、今の時代には「正直者は馬鹿をみる」と言っていて、嘘を平気でつく人が多くなったのは愕然とします。アメリカのトランプ大統領は自分の都合の良ように物事を解釈するので、事実を歪めて言っても嘘だとは思っていない特別の人です。『大無量寿経』に「心口各異 言念無実」が嘘だと有ります。つまり「心と口が各々異なっていて、言っていることと口に出している言葉とが違っていることを嘘というのです。

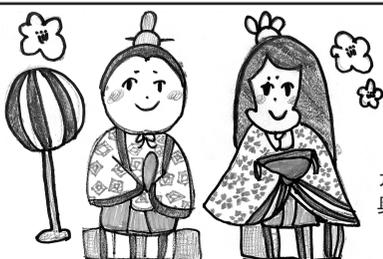
お年寄りを騙して多額の預貯金を投資させたり、孫や子供の名を使って現金を騙し取る特殊詐欺や、挙げ句の果ては、男子大学生が女子大学生をデートで誘って高額な酒を飲み、金が払えなければ水商売をさせるヤクザまがいの行動をするのは悲し過ぎます。

「正直に生きる」ということは、自分の心に正直に生きるという意味ではなく、『論語』の中で孔子は「人として真心と思いやりをもって生きる」つまり、正しく素直に生きることだと言っています。

人が人になるための学問であることを忘れ、人間の五欲（財欲・名欲・色欲・食欲・睡眠欲）を満たすために勉強して、出世することを目標に上げる家庭の風潮は寂しいことです。

人生の終末を控え、欲を断ち、怒りと妬みを捨て、この世に感謝して離れられるよう、愚僧の断・捨・離です。皆様方も人生の卒業式のときは周りの人に感謝することを忘れまい。合掌（奥原曇龍）

『学問は正しく素直に生きるため 人として生き人として死のう』 どんりゅう



カット：奥原 綾

ともしび説法

日時・三月 七日「木曜日」午後一時から午後四時頃まで。
四月二十一日「日曜日」午前十一時から午後四時頃まで。
場所・倉敷市早高426 新本堂 電話086-420-1311

ともしびを読みたい方、お寺についてもっと知りたい方 [心光寺](#) [倉敷](#) [検索](#)



お釈迦様ものがたり 29

お釈迦様は尼連禪河のほとり、ウルヴェーラー村(後にブツダガヤと名称)で菩提樹の木の下で冥想に入られ、三十五歳の十二月八日、暁の明星の輝く頃に、真実の智慧を得て覚られ、仏陀と成られました。

人は生まれたときから自分の思うように生きられず、生きる苦しみ(生苦)、老いていく苦しみ(老苦)、病む苦しみ(病苦)、死ぬ苦しみ(死苦)の四つの苦から逃れられません。お釈迦様は、この四苦の原因は自己執着する無明(煩悩)が原因であると見抜き、人生のありのままを受け止める智慧(如実知見)によって、安らかな境地に到達しました。

苦しみというものは、私の心の外側に存在するのではなく、私の心のあり方が自己中心的で間違っているところから生じるのです。だから真実の智慧によって、自分自身の心のあり方を転換することによって、苦悩を超えて行くことが出来ると覚られたのです。

お釈迦様は成道後もしばらくの間、冥想を続けられました。まず、覚りの境地を一人で楽しました(自受法楽)。そして、自らの覚った内容を人々に説くべきか迷われました。なぜ説法を躊躇されたかというと、覚りの内容があまりにも難解なため、人々が理解できないばかりか、かえって混乱を招くと思われたからです。

しかし、『仏伝』によるとインドの最高の神である梵天の勧め(梵天勧請)によって、説法を決心されたと言われています。説法を躊躇されたのは、覚りの内容を説き明かすこと自体の困難さと、真実に背を向けて自分の損得や利益ばかりを目指す私たちの生き方の現実には戸惑われたのです。

梵天勧請の物語は、お釈迦様が「自分だけが覚って、多くの人々が迷い苦しんでいるなら、それは本当の覚りではない」ということを自覚した物語です。合掌 (奥原曇龍)



1月のともしび説法

ともしび法話

三月は卒業式のシーズン。また春のお彼岸の季節です。皆様、お元気で過ごして下さい。風邪には気をつけて下さい。

お寺の庭にも花が咲き始めましたが、これからは草もたくさん生えるので手入れが大変です。四月二十一日は春の永代経法要もあり、今から心の準備をしています。心光寺坊守(ぼうもり) 奥原 博子

「花は枯れるから美しい」と心の底から思えるようになりました。一瞬、一瞬に命のありたけを生きたる花のいのちに感動を覚えます。人生の下り坂を大切にしよう。倉敷市 風早 利子

一月号の「ともしび」に樹木希林さんのことが書いてあり嬉しかったです。「人間は欲がきりなくあるので、求めすぎない。人生おもしろがって生きよう」が素敵。倉敷市早高 簗田れい子

人生なんて自分の思い描いた通りにならなくて当たり前ですね。幸せとは常にあるものでなく、自分で見つけるものかな。倉敷市西中新田 古谷 洋子

ともしび説法

日時・三月 七日「木曜日」 午後一時から午後四時頃まで。
四月二十一日「日曜日」 午前十一時から午後四時頃まで。
場所・倉敷市早高四二六 心光寺(しんこうじ) 本堂にて
電話・(086)420-1311 駐車場有り

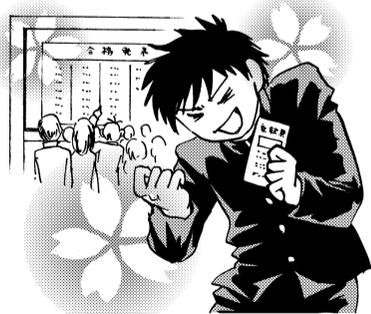
○ともしび説法・お寺の行事予定
四月二十一日(日)・午前十一時から午後四時・永代経法要。
午前、ピアノ・マリンバ演奏、午後、法要儀式・仏教講演等。
五月 十五日(水)・午後一時から午後四時・早高の本堂。

☆『ともしび』を平成21〜23年、平成24〜26年、平成27〜29年と三年ごとにまとめて本としました。毎月1回のお寺の新聞が本となって、過去の忘れていたニュースを思い出し、人生を振り返ることが出来ます。まとめた本が欲しい方は実費でお分け致します。

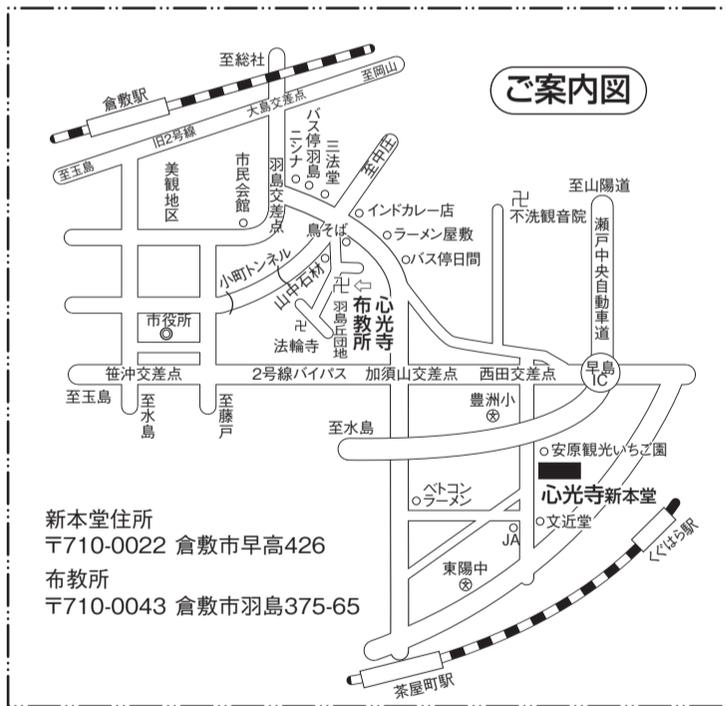


うたの詩

春三月は卒業式のシーズン
まだ名残り雪がちらつく
みんなそれぞれの道を
むりしながら歩むのかな
目をいっぱい閉じて
もつと大らかに生きよう
失敗も挫折も私の栄養剤



カット:吉岡美枝



浄土真宗の宗祖は親鸞聖人(しんらんしようにん)です。お葬式の時にあわてて葬儀屋さんに紹介してもらいより、自分でお寺は決めよう。

〒710-0022 倉敷市早高426
浄土真宗(じょうどしんしゅう)心光寺
TEL(086)420-1311 FAX 420-1322
携帯電話 (090)-2297-2504

★『ともしび』の毎月発行も、お陰様で「350号」となりました。心光寺は、誰でも気軽に来られる「心の雨宿りのお寺」を目標に頑張っています。ともしび説法が午後の日には茶屋町駅西口に12時30分に、お寺より自動車でお迎えに行きます。車の送迎が必要な方はお寺まで、ご連絡を下さい。合掌 心光寺 総代長 三村健